



NPO法人 西東京臨床糖尿病研究会

MANO a MANO

～「mano a mano」とはスペイン語で「手から手へ」という意味です～

HbA1cの国際標準化に対応した患者さんへの説明準備、皆さんの施設ではできましたか？

当研究会評議員
公立昭和病院 櫻井 勉 [臨床検査技師]

新しい診断基準が採用されたことを皮切りに、12月1日の日本糖尿病学会・糖尿病関連検査の標準化に関する委員会でHbA1cの国際標準化に関する基本方針が示されました。

これは「検査医学標準物質機構」がNGSPの値を決定できるNGSPのネットワークラボラトリーに認定されたことで、日本においても正式にNGSP値の呼称が使えることになったためです。それに伴い測定結果も従来のJDS値からNGSP値へ変更をしていく必要が出てきました。委員会報告ではこれは2012年4月以降順次行い、2013年3月までに終了するようになっています。

変更点は本会誌第101号で植木先生が書かれているのでそちらを見ていただきたいと思います。JDS値とNGSP値の関係式からするとJDS値5.5%以下ではNGSP値との差は0.3%、10.5%以上では0.5%となり、簡易計算に用いる「0.4%」は5.6%から10.4%の間で当てはまることとなります。

さて、皆さんの施設ではもう準備が出来ましたか？とはいえ、当院も来年度から表示を変更することとして、今年に入り患者さん向けの説明書を作り配布を始めた所です。

当院の患者さん向けの説明書

患者の皆様へ

ヘモグロビンA1cの標準化と表記

糖尿病の血糖コントロールの指標として用いられるヘモグロビンA1cの値は、国内と海外で基準となるものが異なるため、若干の違いがあります。日本糖尿病学会は、段階的に日本のヘモグロビンA1cの値を国際標準のヘモグロビンA1cに改訂することを決ましました。

このヘモグロビンA1cを国際標準に変えないと、困ることが起こります。たとえば①糖尿病に使用する薬剤の効果の比較ができなくなる。②わが国からのヘモグロビンA1c値が入った臨床成績が世界で認められなくなることがある、などが予想されます。

公立昭和病院でも2012年4月より、日常の診療で用いているヘモグロビンA1cを国際標準化する予定です。なお今までの値もいっしょに表示します。

2つのヘモグロビンA1cの値の間には、

ヘモグロビンA1c(NGSP) = ヘモグロビンA1c(今までの値) + 0.4 という関係がなりたちます。

(ただしヘモグロビンA1c5.5～10.4%の範囲の方)

たとえば今までのヘモグロビンA1c6.5%は(6.5 + 0.4)で6.9%になります。

注:NGSPとは世界標準の規格のことです。

ヘモグロビンA1cとは

ヘモグロビンA1cは、赤血球内の鉄素を運ぶ主要な色素であるヘモグロビンA(ヘモグロビンA)に血液中のブドウ糖が結合して壊れなくなったものです。ヘモグロビンA1cの単位は%です。例えばヘモグロビンA1cが3.8%というのは、血液中のヘモグロビンAのうち3.8%がヘモグロビンA1cになっているということです。赤血球の寿命は約120日なので、ヘモグロビンA1cは、過去12か月の血糖の平均値をよく表します。

●あくまで患者さん用なのであまり難しく(細かく、詳細に)は書けませんし、簡単に書きすぎるとかえって混乱させてしまいますから、さじ加減が難しいところです。

あと、他科の先生方に説明することも忘れないようにしなくてははいけません。特定健診や保健指導が関係しているため、難しい問題があるようです。

●話はがらりと変わりますが、せっかくの機会ですので血液や尿を測定する以外に臨床検査技師がどんな仕事をしているかについて少しだけ書かせていただきます。

検査の種類



検査の種類



細胞診で悪性細胞の有無を探したり、細菌感染の原因菌を探したりします。また、直接患者さんに関わる検査としては心電図や超音波検査などがあります。検査室に引きこもっていますが、話しかけてみてください。

研究会等の実施報告



第12回 西東京糖尿病療養指導士養成講座

平成23年9月8日（木）～12月6日（火）

立川市女性総合センターアームにて開催されました。



平成23年度 受講状況

受講者職種	人数	%
看護師・准看護師	51	34.0
管理栄養士・栄養士	47	31.3
薬剤師	28	18.7
臨床検査技師	10	6.7
理学療法士	9	6.0
その他	5	3.3
受講者合計	150	100.0

養成講座受講者のご感想

当研究会会員 朝比奈クリニック 小原 早弓

平成23年9月8日から計13回に亘り、「西東京糖尿病療養指導士養成講座」に参加させて頂き有難うございました。

まず驚いたのは、こんなにも糖尿病に関心を持ち、スキルアップを目指す人の多さでした。

私自身つい2年前まで急性期に携わり、その場で処置を要する患者を助ける使命感に結構、燃えていました。しかし縁あって現在の院長にお世話になり、最初は慢性疾患の対応の大変さ、「何でこんなに精神的に疲れるのだろう。」と人との関わりに疲労感を感じるばかりでした。

当院は院長の方針で患者自身が自分で選択でき納得した療養生活を楽んでいる方が大変多いです。鳥籠ではなく、鳥の巣みたいな暖かい場所を作っています。そこで対応している内に自分も無知ではいけない、恥ずかしいと思うようになり

ました。（心理はどことなく患者さんに似てますね。行動変化です。）

今回の講義は自分のスタートラインでした。植木先生の心温まる体験談から始まり、ラストの症例検討と貴重な時間を割いて講義してくださった先生方からも時に答えをもらっている気がしました。

これを基盤とし患者様から望まれる療養指導士を目指し、努力していきたいと思います。

講義してくださりました先生方、有難うございました。

第28回 東糖協多摩ブロック糖尿病教室

平成23年12月10日（土）八王子市・北野市民センターホールにて開催されました。

平成23年12月10日（土）午後2時より八王子市の北野市民センターホールにおきまして、「第28回東糖協多摩ブロック糖尿病教室」が57名の参加者を集めて開催されました。

会の冒頭に日本糖尿病協会 東京都支部 会長 菅原正弘先生より開会の挨拶がございました。

続いてクリニックみらい国立 院長 宮川高一先生の座長のもと、東京医科大学八王子医療センター 糖尿病・内分泌・代謝内科 科長 大野敦先生からは特別講演①「医師から見た食事療法のコツ」、緑風荘病院 栄養室・健康推進部 主任 西村一弘先生からは特別講演②「低炭水化物ダイエットについて」を御講演を頂きました。最近話題の低炭水化物ダイエットや食事療法の重要性など幅広く解説していただきました。講演後には会場からの質問にもお答えいただきました。

第2部の『ぜひ聞きたい！あんな疑問？こんな疑問？コーナー』では宮川先生の司会のもと、大野先生、西村先生、国立ウラン薬局 薬剤師 森貴幸先生、クリニックみらい国立 看護・検査 岡崎扶美恵先生の4名をコメンテーターにお招きし、会場からの糖尿病に関する疑問・質問にお答えいただきました。



研究会等の実施報告



第1回・第2回 西東京LCDE糖尿病出前講座

平成23年10月26日（水）及び11月30日（水）八王子きょうりつビルにて開催されました。

当研究会理事 東京医科大学八王子医療センター 大野 敦



「次世代育成プロジェクト」の2011年の活動は社会貢献という観点も考慮し、介護職を対象に「西東京LCDE糖尿病出前講座」を開催しました。それに先立ち、出前講座に対するニーズを把握する目的で、訪問看護ステーションのスタッフを対象に事前アンケートを実施しました。回答のあった全てのスタッフが、担当している糖尿病患者の対処に困った経験を有していました。希望する講義内容は、「薬物療法の進め方」「糖尿病治療薬について」「フットケアについて」「高齢者の食事療法」「血糖値の見方、考え方」「シックデイルールについて」の順に多く、糖尿病の知識の少ない介護スタッフ向けという点を考慮し、第1回目（10/26）は「シックデイルールについて」「高齢者の食事療法」、第2回目（11/30）は「フットケアについて」「糖尿病の経口薬療法」のテーマで、八王子共立ビルの会議室をお借りして開催しました。参加人数は34名と36名で、職種はケアマネジャー、介護福祉士、看護師の順に多く、職場は居宅介護支援事務所が多かったです。講義後のアンケートでは、各講義の評価は「適切」「どちらかといえば適切」を合わせて80%以上と好評でしたが、個々の講義に対し「平易すぎる」「介護職にとっては難しい」など相反する意見もみられました。

今後は講習の目的を予め明示する一方、アンケート結果に即し内容を改善させていきたいと思えます。さらに次世代育成の観点から、講義担当スタッフを西東京LCDE会員の中で増やしたいと考えておりますので、御協力のほどお願い申し上げます。

研究会他のお知らせ

◆ 直接事業 ◆ 間接事業 □ その他

◆ 第9回 西東京インスリン治療研究会（※お申込みは不要です。） ※詳細は同封の資料をご覧ください。

開催日：平成24年2月18日（土）16:00～19:40

場 所：ザ・クレストホテル立川「桜の間」

テーマ：『CGMをめぐって（CSII含む）』

参加費：医師：1,000円 医師以外：500円

★西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：4単位

★日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位＜第2群＞：1単位申請中

◆ 第30回 糖尿病連絡会（※お申込みが必要です。） ※詳細は当会ホームページをご覧ください。

開催日：平成24年2月22日（水）19:30～21:00

場 所：公立昭和病院 2F「大講堂」

参加費：500円（お弁当のご用意があります）

申込み：お電話でお申込みください。

TEL：0422-39-7981（担当：アステラス製薬㈱ 清水）

★日本医師会生涯教育講座：1.5単位申請中[カリキュラムコード：11.13.23]

◆ 第23回 武蔵野糖尿病研究会（※お申込みが必要です。） ※詳細は同封の資料をご覧ください。

開催日：平成24年2月25日（土）18:00～19:30

場 所：三鷹産業プラザ

参加費：500円

申込み：同封のお申込み用紙にて、FAXでお申込みください。

FAX：0422-40-5033（宛先：かんの内科 武蔵野糖尿病研究会事務局）

研究会他のお知らせ

◆直接事業 ◆間接事業 □その他

◆第2回 薬剤師糖尿病指導研究会 (※お申込みが必要です) ※詳細は当会ホームページをご覧ください。

開催日：平成24年3月10日(土) 15:00~17:30

場 所：国立市商業協同組合 さくらホール

参加費：500円(軽食をご用意しております。)

申込み：当会ホームページより申込み用紙をダウンロードのうえ、FAXでお申込みください。

FAX：042-362-1602(担当：ノボ ノルディスク ファーマ㈱ 飯塚) 申込締切：3月3日(土)

★西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：2単位

★日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位<第2群>：0.5単位申請中

★研修認定薬剤師更新単位：1単位申請中

◆NPO法人 西東京臨床糖尿病研究会 特別講演会 ~糖尿病と認知症~ (※お申込みが必要です)

開催日：平成24年3月31日(土) 16:00~19:20(開場15:30)

場 所：明治安田生命ホール

内 容：『東京都における認知症施策について-糖尿病等の認知症身体合併症への対応も含めて-』

東京都医師会 理事(地域福祉・介護保険・精神科医療担当) 平川 博之 先生

『糖尿病を有する認知症高齢者の治療とケア』

医療法人大誠会 理事長 群馬県認知症疾患医療センター センター長 田中 志子 先生

参加費：無料 定員：342名

申込み：同封のお申込み用紙にて、FAXでお申込みください。

FAX：042-322-7478(宛先：当研究会事務局) 申込締切：3月23日(金)

★西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：7単位

★日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位<第2群>：1単位申請中

★日本医師会生涯教育講座：申請中

★日糖療養指導医取得のための講習会：申請中

◇◇ 教えて！糖尿病Q&A ◇◇



質問者：匿名[看護師]

糖尿病看護認定看護師と糖尿病療養指導士の違いは何ですか？



回答者：公立昭和病院 松本 麻里[看護師]

定義として糖尿病看護認定看護師の役割とは、糖尿病看護分野において、熟練した看護技術と知識を用いて、水準の高い看護実践のできる者を言い、役割としては看護現場において糖尿病看護における実践・指導・相談の3つの役割を果たすことにより、看護ケアの広がりや質の向上を図ることに貢献する、とあります。(日本看護協会HPより抜粋) 糖尿病看護認定看護師は、血糖パターンマネジメントやフットケア技術、糖尿病合併症の成因、疾病管理および療養生活支援、コンサルテーションなど、糖尿病看護の分野でのより深い知識を活かし、チームの一員として活動しています。

対して、西東京糖尿病療養指導士などのCDEは、糖尿病に関する幅広い専門知識や、療養指導全般に関する正しい知識を有し、患者さんの生活を理解し、適切な自己管理がおこなえるよう援助する役割を持つ看護師、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師、理学療法士に与えられる認定資格とあります。

患者さんのより良い生活の質(QOL)のために存在する私達に、職種の違いはあっても患者さんに対する想いに違いは無いのではないのでしょうか？



《広報委員会より》 Q & Aに質問をお寄せ下さい。委員もしくは専門分野の先生に答えてもらいます。

宛先(Q & A受付専用) : qanda@lagoon.ocn.ne.jp お名前(匿名可)、職種をお書き添えてください。

《発行元》

NPO法人 西東京臨床糖尿病研究会 事務局
〒185-0012
国分寺市本町2-23-5 ラフィネ山山No.3-802
TEL : 042(322)7468 FAX : 042(322)7478
http://www.nishitokyo-dm.net
Email:w_tokyo_dm_net@crest.ocn.ne.jp

《編集後記》



2012年がスタートし早くも1か月が経ちますが、お正月太りなど戻りましたでしょうか。

2月12日(日)には西東京糖尿病療養指導士の認定試験が行われます。厳しい寒さが続きますが、受験生の皆様は風邪などひかないよう、栄養と休息をしっかり取りながら、体調を万全にして頑張ってください。(広報委員 永田 美和)